子どもたちといっしょに

「わにわにのおふろ」（福音館書店）
小風さち さく　山口マオ え

お風呂が嫌いな子どももこの絵本を見たら、きっと好きになってくれると思います。「ワニ」がお風呂に入るなんて！でも、お風呂好きなワニが一頭くらいいても楽しいと思いますよ。

絵は木版画ですが、わにわにの気持ち良さそうな表情がよく表われています。「わにわにのおふろ」の他に「わにわにのごちそう」「わにわにのおでかけ」「わにわにのおおけが」があります。わにわには本当に表情豊かです。ぜひ子どもと一緒に読んで下さい。

第75回読書会

「流星ワゴン」 重松清 著　（講談社）

1月21日（日）午後2:00～
白根学習館 ルーム2
（しろね図書館友の会
しろね図書館　共催）

イベント情報

第4回　絵本・物語にでてくるおやつづくり

とき・**2月4日（日）** 午後2時30分 ～ 4時30分
ところ・白根学習館 食工房　　対象・小学生から中学生
募集人数・15人（先着順）　　参加費・300円（当日集めます）
持ちもの・エプロン、バンダナまたは三角巾

申し込みはしろね図書館まで
（025-372-5510）

12月の

来館者 …… 13,824人（視察・見学171人含）
貸出冊数 …… 14,226冊
予約件数 …… 159件

ブックバス利用者 …… 78人
ブックバス貸出冊数 …… 200冊

リクエスト情報　（しばらくお待ち下さい）
1位 ハリーポッターと謎のプリンス 上・下（10名）
2位 東京タワー（9名）
3位 陰日向に咲く
名もなき毒（6名）
4位 風が強く吹いている
手紙　他（2名）

1月の行事

		ブックバス
6（土）	おはなし会 3:00～	降雪期
10（水）	絵本のじかん 3:00～	ブックバスは安全の為運休します
13（土）	おはなしかご例会10:00～ おはなし会 3:00～	
14（日）	文化講演会	
17（水）	第44回 あかちゃんかはじめてであうほん 絵本のじかん 3:00～	
20（土）	おはなし会 3:00～	
21（日）	第75回読書会 2:00～	
24（水）	絵本のじかん 3:00～	
25（木）	雑誌リサイクル	
27（土）	おはなしかご例会10:00～ おはなし会 3:00～	

しろね図書館だより

発行 新潟市立白根図書館
No.80　平成19年1月1日

✿ 今月の展示架テーマ「自然写真家 天野尚の世界
人は宇宙よりも熱帯雨林を知らない」

亥

新年あけましておめでとうございます。
今年もみなさんに気持ち良く利用していただけるように職員一同心よりお待ちしております。

さて、2007年もしろね図書館ではイベントが盛りだくさん！
今までも紹介してきましたが、まずは今月1月14日に開催される文化講演会・「天野尚講演会『創造の原点、アマゾン』」そして、2月4日には「第4回絵本・物語にでてくるおやつづくり」、その他毎週水曜日の絵本のじかん・毎週土曜日のおはなし会などなど楽しいイベントがみなさんを待っています。ぜひ参加してください。

今年もみなさんが楽しく幸せでありますように！

SHIRONETOSYOKANSHIRONETOSYOKANSHIRON

イベント情報　1月14日は・・・

しろね図書館では、1月14日（日）に天野 尚講演会「創造の原点、アマゾン」を開催します。
2回にわたって講師の天野 尚さんを紹介してきたこのコーナーの最終回は、自然から得た着想をガラスの中の水中世界に表現する「ネイチャーアクアリウム」です。

天野 尚講演会公式ホームページがオープンしました！
講演会の情報はもちろん、天野さんの作品や、おすすめ本なども紹介した充実のコンテンツです。
http://pc4.gakushyukan-shirone-unet.ocn.ne.jp/laspec/default.html
または、白根図書館で検索

あまの・たかし　1954年新潟市（旧巻町）生まれ。
16年間競輪選手として活躍。現在は、ライフワークとしてアマゾンなど熱帯雨林で、大判カメラによる撮影に取り組む。
株式会社アクアデザインアマノ代表取締役社長。

水中風景の魔術師

自然の美しい景観や生態系の循環の仕組みに学び、水槽の中に石や流木、水草をレイアウトして魚が暮らしやすい環境をつくる――それが、天野さんが提唱するネイチャーアクアリウムです。

水草や魚を健康に育てるのはもちろんのこと、熱帯魚の故郷・アマゾンをはじめとする大自然から得た着想を、水槽の中に凝縮して表現する芸術をも意味します。自然の中にある環境と生物の調和や、そこから生まれる美しさをレイアウトによって表現するのです。（続きはホームページへ！）

第七十四回読書会

平成十八年十二月十七日（日）
午後二時～　　参加者六名

『残花亭日暦』（角川書店）

田辺聖子　著

☆☆　参加者の感想　☆☆

☆　日々の出来事が描かれている日記であるが、物語といっても良いくらい十分値打ちがある。たとえ家政婦を雇っていても夫の介護、執筆、講演活動等忙しい日々を送っており大変だなあと思った。

又、ぬいぐるみとの会話がおもしろく、まるでほんとうの子供と話しているようでほのぼのとした。

☆　だんな様の横柄な態度がかえっていじらしく感じた。　葬儀のやり方を事前に打ち合わせするなど違和感を感じたけれど、さすがに有名人だなあと感じた。

普通の人は生前に葬儀の段取りなどはしないのに。

多忙な毎日の夕食が、バラエティーにとんでいて羨ましかった。

☆　何気ない日常の夫婦の関係や介護などが淡々と描かれているが、随所に互いに感謝している様子が伝わってきた。

☆　葬儀の中での弔電やあいさつがユーモアもあって素晴らしく、これだけで文章になるなんてさすが田辺さんだと思った。

☆　老婆とだんなさんの介護をしながらも、仕事を一切削ることなくやり遂げているバイタリティに感激した。

☆　再婚して一緒にお酒を飲んだり、会話をしたりして、仲の良い夫婦だと思った。

☆　ほとんど毎日の出来事が書かれており、これが本当に日記であるかと疑うほど充実していた。

☆　作者と付き合っている作家をはじめ、時の総理大臣や国の内外の出来事なども登場し、しかもそれらに対し論評をしているなど世相も反映していて興味がわいた。

☆　最初は元気だったが最後はだんなさんの介護をしながら自身の仕事を減らすことなくやり遂げていることはある面うらやましく思った。　介護を前面には出さないが、節々に介護の大切さを感じた。

☆　主人の介護をした日々と重ね合わせて読んだ。介護の厳しさを実際に体験し、十分承知しているが、持ち前の明るさでそれらを表に出さずに普段と変わらずに活動している作者はすごいとおもった。　又、明るい性格のミド譲とのやり取りがおもしろかった。

☆　わずか9ヶ月間の出来事であるが、日々の暮らしぶりが鮮やかに描かれている。　作者の多忙な暮らし、バイタリティに比べれば、自身の日々の生活が単調で、なんとのんびりしているのだろうと思った。

（坂井　治一）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

次回の読書会は一月二十一日（日）

「流星ワゴン」　重松清　著　（講談社）

今父親である人、これから父親になる人にぜひ読んでほしい本です。

もし、時空を超えて同い年の父親に出会ったら、あなたならどうしますか。

本はカウンターに用意してあります。

皆さんのご参加をお待ちしています！

～図書館員がおすすめするこの一冊～

「The Rio Negro―誰も知らないアマゾン」

ザ・リオネグロ　だれもしらないアマゾン

戦うネイチャーフォトグラファー・天野 尚が挑む
「原初の風景」、その集大成！

このネグロ川が見せる驚くほどさまざまな表情を、天野さんは命がけでファインダーに捉えてきました。あるときは超重量の大判カメラを抱えジャングルの道なき道を進み、あるときは、いつ墜ちるとも知れぬセスナを駆り空の高みからカメラを構え、またあるときはピラニアやワニの群れる流れに決死のダイブ……。

人は宇宙よりも熱帯雨林を知らない。

アマゾンと聞いて、あなたは何をイメージしますか？うっそうと広がるジャングル？　人喰いワニやピラニアなどのエキゾチックでキケンな生き物たち？　それとも……？　人跡未踏のジャングルに何があるのか。アマゾンに魅せられた男・自然写真家の天野 尚（あまの・たかし）さんは、その半生を賭けて熱帯雨林の撮影に挑んできました。

広大なアマゾンの中でも、紅茶色のブラックウォーターが流れるネグロ川は、約 1,700ｋｍにもわたる雄大な大河。ほとんど人が足を踏み入れたことのない、手つかずの自然が色濃く残る領域です。

石と草木が織り成す「侘び、寂び」の世界、純白の砂が一面に広がる静寂のビーチ、天空を彩る星々の大海、完璧な球体を成す奇岩群「アマゾンの卵」……そこにあったのは、常人の想像を遥かに超越した原始の自然。

さあ、あなたも地球上に残された最後の大自然・アマゾンの扉を開き、その生命の奇跡が織り成す美を体感してください。

（清水　隆）

この本に収録された写真の一部は、交流広場に展示の 170×120 センチ超特大パネルでご覧いただけます。
また、これ以外にも天野さんからのおすすめ本をはじめ、展示架に多数ご用意いたしました。
もちろんすべて借りることができます。しろね図書館にしかない貴重な資料も取り揃えておりますので、
どうぞ心ゆくまで大自然の迫力、天野 尚の世界をご堪能ください。

自然写真家・天野（あまの） 尚（たかし） 講演会

「創造（そうぞう）の原点（げんてん）、アマゾン」

上記の本の作者、市内在住の写真家・天野 尚さんが、アマゾンで撮影した写真をスライドで紹介しながら、熱帯雨林で過ごした驚きのエピソードや、ふるさと・にいがたの自然への想いを熱く語ります。アマゾンでワニと格闘したり、ピラニアの刺身を食べたり……どんな話が飛び出すか、どうぞお楽しみに！

◆日時：２００７年１月１４日（日）
13:30～15:00（開場 13:00）
◆会場：白根学習館ラスベックホール
◆定員：500 名。申込不要・入場無料。
◆主催：しろね図書館　後援：しろね図書館友の会
◆お問い合わせ：しろね図書館　025－372-5510